



この表示、 ごみではなく**資源**です。

プラスチック製容器包装分別収集の現状と課題について

●令和4年度のリサイクル率は**36.9%***

プラスチック製容器包装の分別収集がスタートしてから約1年経過しましたが、収集されたプラスチックの**6割以上がリサイクルできずに処分**されています。

※令和4年4月～令和5年3月の収集量^①のうち、再資源化できた量^②の割合


①収集量：374.49t ②再資源化量：138.32t

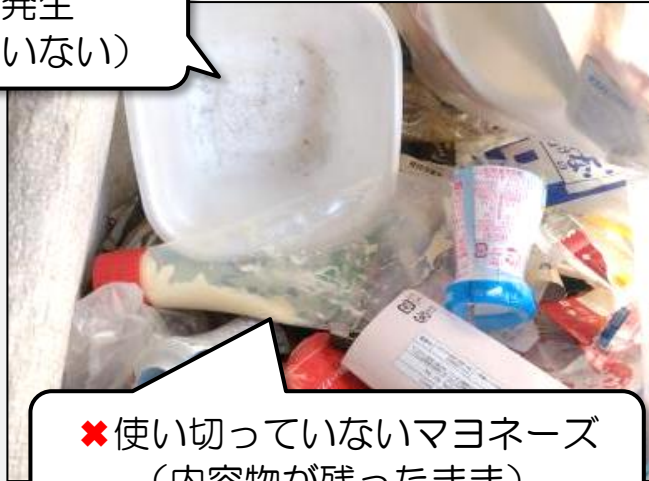
●リサイクルできないプラスチックの内容

収集されたプラスチックは、リサイクルが「できるもの」と「できないもの」に分別されます。下の写真は、分別の際にはじかれたものの一例です。



×カビの発生
(洗浄されていない)

×紙ごみ、アルミ
(以外のごみ)

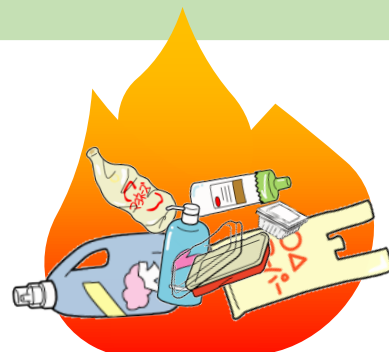


×使い切っていないマヨネーズ
(内容物が残ったまま)

●リサイクルできなかったプラスチックは？

「リサイクルできないプラスチック」として分別されたものは、**燃えるごみ**として処理されます。

生ごみや紙ごみ等の他のごみに比べて、プラスチックごみは燃やすと高温になるため、焼却炉を傷める要因となってしまう。



プラスチックごみ焼却イメージ*

●分別・リサイクルの流れ

①約1週間分の収集量



②リサイクルできるものを分別



③圧縮、梱包しリサイクル業者へ



①収集 ~ ②分別 ~ ③圧縮・梱包

リサイクルできない物が多く混在していると、それだけ時間や費用（＝税金）が多くかかってしまいます。

●ごみ処理施設の現状


市のごみ処理施設 クリーン原町センター（昭和63年3月竣工）は、老朽化が進んでいて、修繕や改良工事を行いながら使用しています。また、隣接する最終処分場では埋立容量の確保のため、嵩上げ（かさあげ）をして対応しています。

今後のごみ処理量が変わらなければ、令和17年には現在の施設を使用できなくなってしまいます。

少しでも長く施設を使用するためには、私たち一人ひとりがごみ減量・リサイクルの推進に取り組んでいくことが重要です。皆様のご協力をお願いします。

●プラスチックごみの上手な分別のコツ！

リサイクル率を上げるために、
以下の3点をお願いします。

- ①  マークが目印！
- ② 汚れていたら洗う！
- ③ 洗ってもきれいにならない物は「もえるごみ」

分別に困ったときはこちら！

南相馬市ごみ減量
ガイドブック



南相馬市ごみ分別アプリ
（無料）



ios 版



Android 版

【問い合わせ先 市民生活部生活環境課ごみ減量推進係 電話24-5231】